

# 小規模企業景気動向調査

[平成30年11月期調査]

## ～足踏み状態が続き、停滞感が強まった小規模企業景況～

2019年1月16日  
全国商工会連合会

### <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年11月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

### <産業全体> ◇…足踏み状態が続き、停滞感が強まった小規模企業景況…◇

11月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、売上額DI、資金繰りDIはわずかに悪化し、採算DIは前月とほぼ不変であった。経営指導員からは、11月は暖冬で、前年と比べると積雪も少なく好天にも恵まれたため、観光地では景況感改善のコメントが目立った。また、本格的な冬の到来や年末の資金需要に向けて、各地の金融機関の積極的な態度が見られる。一方で、業種を問わず人手不足、原油等の価格高騰は慢性化しており、景況は停滞感が強まって来た。

### <製造業> ◇…受注は好調も、人手不足や働き方改革の影響が懸念される製造業…◇

製造業は先月から引き続き、全項目が改善となった。特に採算DIが小幅な改善となった。食料品製造業では年末年始の需要増に対応するため、高稼働の状況に入ったとの声がある。また、今年は台風・地震と全国各地で災害が続いたこともあり、災害用ヘルメットを製造する強化プラスチック製品製造業やコンクリート製品製造業では、例年に無い需要が出てきている。他業種と同様人手不足に悩まされており、労働時間が増加する傾向にあるが、最低賃金の上昇や今後実施される働き方改革の影響を懸念するコメントも見られた。

### <建設業> ◇…受注は好調も、大手企業等との競争や資材高・人手不足が足かせとなっている建設業…◇

建設業は売上額DIこそ小幅な改善となったが、業況DIと資金繰りDIは小幅に悪化、採算DIはわずかに悪化した。来年の消費税増税前の駆け込み需要や災害からの復旧工事で官需・民需を問わず工事量が増加しつつあり、受注は好調である。しかし、民需は大手企業やハウスメーカーの参入が多く、町村内を商圈とする小規模事業者の受注が難しくなっている。また、専門性の高い職別工事業の人手不足や重機不足により伴う工期の長期化による受注機会の逸失が発生や建材等の材料高などにより、利益等が圧迫されているとの声があった。

### <小売業> ◇…季節需要から一部は好調も、人手不足等の影響もあり疲弊が続く小売業…◇

小売業は、全項目が悪化となった。秋冬物の販売が好調であるとの声や紅葉等の行楽需要により飲食料品を中心に売上が伸びているとのコメントがあった。一方、小規模な小売業の全国的なじょうきょうであるが、相次ぐ大規模小売店、ロードサイド店舗や食品コーナーを持つドラッグストアの出店や競合により売上の確保が難しく、人手や仕入れ商品の確保にも苦慮しているとの声もあった。また、仕入単価も上昇しており大変厳しい状態が続いている。

### <サービス業> ◇…売上は好調も、人手不足や原材料高の影響の大きいサービス業…◇

サービス業は先月から一転、全項目が改善に転じた。各種イベントの効果もあり観光客が増加した地域や、本来、紅葉と冬山シーズンの間のオフシーズンのため集客が低下する時期にもかかわらず、却って増加となっている地域も見受けられた。しかし、人手不足によりアルバイト・パートの確保に苦労しているのはサービス業も例外でなく、近隣との大型店との競争激化や消費者の消費控えなどで売上が思うように向上しないとのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 10.9	▲ 9.2	1.7	▲ 4.2	▲ 3.3	0.9	5.0	9.1	4.1
採算	▲ 15.0	▲ 14.9	0.1	▲ 13.1	▲ 11.1	2.0	▲ 5.9	▲ 6.4	▲ 0.5
資金繰り	▲ 10.9	▲ 11.9	▲ 1.0	▲ 7.1	▲ 7.0	0.1	▲ 5.2	▲ 8.2	▲ 3.0
業況	▲ 14.1	▲ 14.7	▲ 0.6	▲ 10.4	▲ 9.8	0.6	0.4	▲ 2.1	▲ 2.5

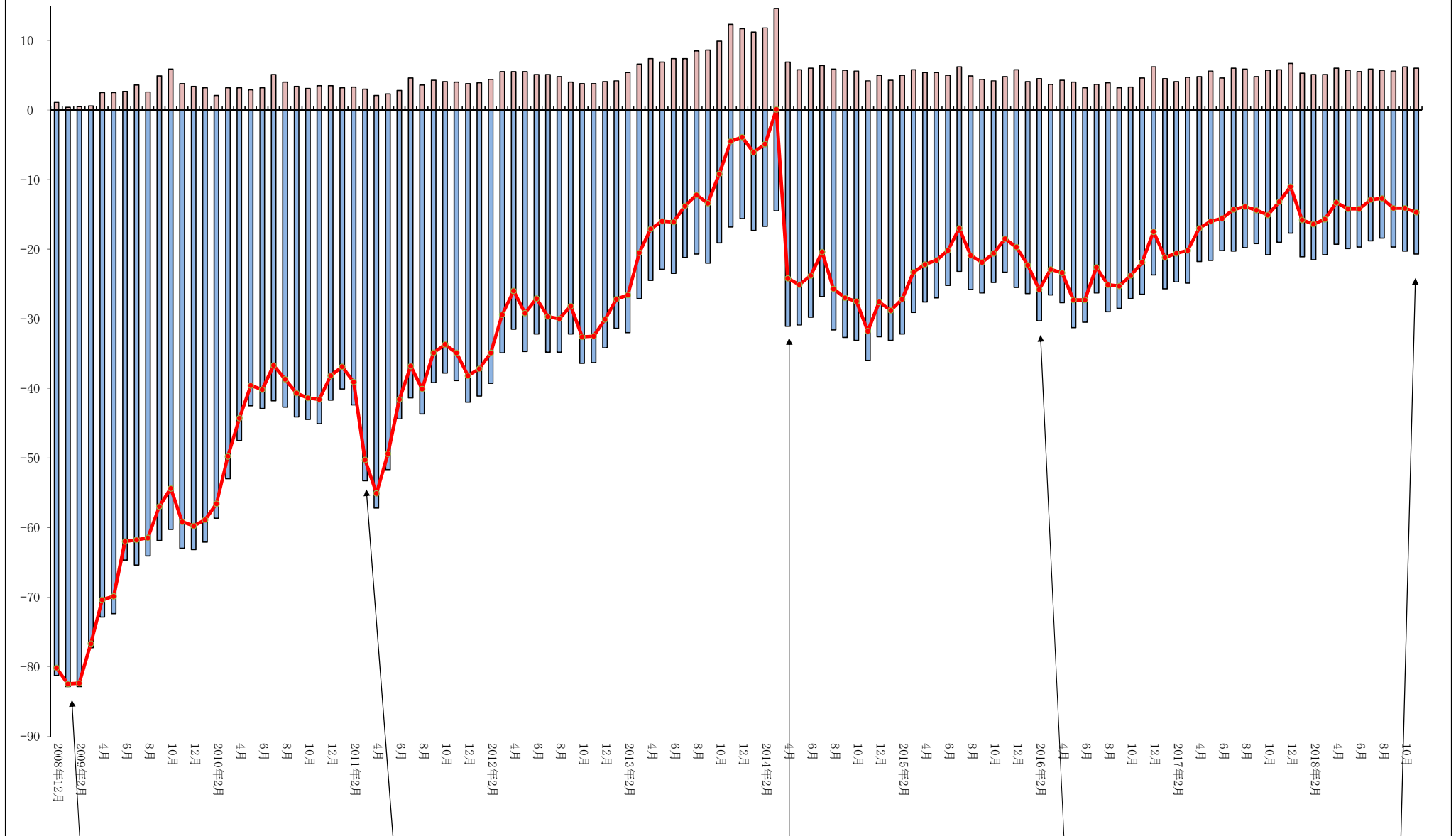
業種	小売業			サービス業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 23.1	▲ 25.5	▲ 2.4	▲ 21.4	▲ 17.3	4.1
採算	▲ 21.4	▲ 23.4	▲ 2.0	▲ 19.6	▲ 18.8	0.8
資金繰り	▲ 16.9	▲ 20.3	▲ 3.4	▲ 14.4	▲ 12.0	2.4
業況	▲ 25.6	▲ 27.2	▲ 1.6	▲ 20.7	▲ 19.9	0.8

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



09年1月  
調査開始以来最低数値  
(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上  
げ

16年2月16日  
日銀マイナス  
金利導入

18年/11月  
-14.7

## 小規模企業景気動向調査(11月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・地域の経済状況は安定している。経営計画を作成している小規模事業者では、売上の増加しているところもあ  
(山口県山口県央商工会)
- ・季節の変わり目で衣料品業界の景気が良好。金融機関の貸出し態度は引き続き軟化傾向にある。  
(宮崎県佐土原町商工会)
- ・ここ数年、不漁であったサケ漁が回復の兆しを見せる。災害復旧関係工事のため建設業は好況である。他、大きな変化なし。金融機関の貸出し態度は良好である。  
(北海道新ひだか町商工会)
- ・市内景況については、行楽シーズン需要にて、小売業・飲食業では景況感の改善がみられた。輸出の伸びの影響もあり輸出関連に係る製造業種では前年を上回る売上のところが多かった。設備投資については銀行の貸出量も弱いながらも増加傾向を維持している。先行き感については、米中等海外問題の影響が心配され今後の原油高、原材料費の高騰を心配する声が依然として高く、悪化を予測している事業所が多い。  
(兵庫県川西市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・観光客が減少しており、商工業者の半数以上を占める宿泊業の景況が悪化しているため、その影響で全般的に景況が悪化している。原油価格上昇による経費増加の影響も採算悪化につながっている。  
(新潟県妙高高原商工会)
- ・当地域は自然災害等の影響が少ない地域であるが、原油価格高騰による燃料費の高騰はどの業種も影響を受けている。金融機関の貸出しについても積極的な姿勢がみられる。  
(群馬県笠懸町商工会)
- ・ワカサギ釣りが解禁し、釣り客が多くなったが、台風等が多く発生した為、紅葉等があまりよくなく宿泊者は年々減少している。  
(福島県北塩原村商工会)
- ・7月豪雨被災事業者が多く、営業再開できていない事業所が多い。建設関係については、災害復旧工事等が多いが人員不足のため、対応ができていない状況。  
(愛媛県川上商工会)
- ・暖冬の影響か例年の冬への準備が遅れており、前年同月に比べて資金需要は少なくなっている。  
(新潟県小国町商工会)
- ・製造業において、食料品は年末に向けての受注により売上増だが、仕入単価上昇により採算は例年通り。繊維工業は受注は安定しているものの、単価が下がっている。また高齢・後継者不足により機械の老朽化が進んでいるが新たな投資が出来ていない。機械・金属は引き続き好調。建設業は受注はあるが、人手不足・短納期の為、新たな受注を受けられなり状態が続く。小売業において、衣料品、食料品ともに顧客が高齢の為、比例して売上減少。耐久財においては、暖冬の為、暖房機器についての売上はまだ伸びていない。サービス業において、旅館はカニ漁の解禁にともなって好調だが、仕入単価の上昇により採算ベースでは前年通り。洗濯も旅館に比例して好調だが、原油高騰により採算は例年通り。  
(京都府京丹後市商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・柑橘類の搾汁作業が始まり、工場は繁忙期に入り従業員もフル稼働の状況となっている。  
(沖縄県本部町商工会)
- ・食料品関連の製造業は、主原料を含めた原材料全体の値上げが続いているため、価格転嫁に取り組んでいる。繊維工業関係の製造業は、外国人研修生の登用検討が継続しており、現地に赴き、同業数名で出資しての外国人による縫製会社の設立の話も出ている。  
(秋田県かづの商工会)
- ・防災関連製造業は、災害が続いたため品薄状態でフル稼働での生産体制である。  
(滋賀県大津北商工会)
- ・食料品関連の製造業は、昨年同時期と比べて特に変化はない。繊維工業関連の製造業は、大手企業より自社HP経由顧客製品の引き合いがあった。OEM製品については年間でも最も忙しい時期である。機械・金属関連の製造業は、建設業界の景気が良く、地元小学校の改修工事や高速道路関係等にかかる金属製品加工・取付の仕事が続いており、現在はかなり忙しい。  
(岡山県作州津山商工会)

### ＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・食品関連の製造業者は、原材料の高騰で、従来の値段を値上げをしなくてはならない状況になっている。  
(茨城県城里町商工会)
- ・間接的な仕入原価(輸送費等)の販売単価に反映出来る、出来ない点で事業者間に差が生じている。  
(富山県庄川町商工会)
- ・食料品製造業に関して、大島大橋の衝突事故の影響で直売店および大口の卸売り先事業所付近で渋滞が慢性的に発生し、売上が大きく減少した。  
(山口県大島商工会)
- ・水害復旧工事の需要はコンクリート製品を中心に多いが、今まで納品していなかったような遠方からの注文もあり、輸送コストの増加に苦慮している。  
(岡山県真庭商工会)
- ・機械製造、特に板金関係の受注があり、逆に人手不足に悩まされており、残業も多い。今後実施される働き方改革は、製造業にとって逆行の流れとなる。  
(島根県雲南市商工会)

### 3. 建設業

#### ＜改善傾向を示すコメント＞

- ・水道設備関連の建設業者は個人、民間企業を中心に稼働状況良好である。  
(宮城県みやぎ北上商工会)
- ・土木関連の建設業は、公共事業が出始めたことから売上を伸ばしている。建築関連の建設業は、暖冬の影響で冬場でも仕事が続いており売上を伸ばしている。  
(新潟県小国町商工会)
- ・土木請負関連の建設業は、豪雨や台風災害の復旧公共工事の発注が継続しているため、景気が良い状況になっている。  
(岐阜県高山西商工会)
- ・大工工事業では、災害復旧の動きが顕著に現れてきており、被災地域を中心に他者への応援(下請け)業務を含んだ形で堅調に受注を確保している。  
(岡山県岡山北商工会)

#### ＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・建設業の業況については、商圏を町内とする小規模事業者が多い中、大手の会社、ハウスメーカー等が参入し厳しい状況となっているが、全般的にみると受注数等は増加していると思われる。  
(大分県玖珠町商工会)
- ・公共工事は低調。民間需要は個人住宅・店舗等を中心に旺盛であるが、作業員不足と建材不足もあり、進捗遅延が見られる。  
(鹿児島県かのや市商工会)
- ・災害後、県・市及び一般からの発注が多く仕事量は増えている。しかしながら、労働者不足や重機不足によりチャンスロスが生じている。  
(愛媛県吉田三間商工会)
- ・引き続きアパートや住宅の受注が好調であるが、人手不足による工期長期化、受注機会の逸失が散見される。専門業種においては専門性の高い型枠工の人手不足(若手)が目立つ。  
(沖縄県うるま市商工会)
- ・住宅建築関連の建設業は、新築着工件数については現状維持はしているものの職人の高齢化が顕著であり、その分外注で対応する機会が増加し、一部採算が取れない工事もある。  
(秋田県白神八峰商工会)
- ・建設関係全般において、仕事量を確保しており売上は微増であるが、諸経費が増加しており利益増には繋がっていない。  
(長崎県松浦市福鷹商工会)

### 4. 小売業

#### ＜改善傾向を示すコメント＞

- ・猛暑が終わり、秋冬物商品の販売が好調である。  
(群馬県笠懸町商工会)
- ・行楽特需によりスーパーやコンビニなどでは飲料品や惣菜などの売上が前月に続き増加しているところが多くみられた。百貨店でも食料品は伸びたが、衣料品などは苦戦を強いられている。コンビニでも夏場以降の売上が好調で前年を上回る売上となったところが多かった。  
(兵庫県川西市商工会)
- ・韓国人観光客を中心とした交流人口が多い対馬南部の厳原地区や対馬北部の比田勝地区は、飲食店などの新規開業も多く、それに伴い自動車や設備関連機器などの売上も増加傾向にある。  
(長崎県対馬市商工会)
- ・衣料品関連の小売業は、昨年同期に落ち込みがあったが、今期は一昨年並みの売上に回復した。  
食料品(米、農業資材)関連の小売業は、米の不作が確実となったものの、販売適正価格が産地でも中央卸でも手探り状態となっている他、燃油高騰の影響で肥料価格が上昇している状況である。  
耐久消費財関連の小売業は、以前のような年金支給月の売上も少なくなり、何とかやりくりしている状況である。  
(秋田県かづの商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

・飲食関連の小売業は、最近近隣のイベントに出店して、認知度の向上に努めているが、イベントでは反響があるも、店舗へ後日来店するといったところには至っていない。

(兵庫県太子町商工会)

・パートタイマーの労働力により稼働するスーパーは人手不足が慢性的に続いており、最低賃金引き上げに併せて時給アップの対応をとるが改善見られず、採算が悪化している。

(宮城県みやぎ北上商工会)

・菓子製造業において、年末にかけて材料(小豆など)の高騰すると仕入業者から聞いており、心配である。

(石川県宝達志水町商工会)

・これから売り出しの期間に入るがコンビニ、スーパー等への顧客流出が多く、売り出しをしてもあまり効果がないと参加する店舗が減少しつつある。

(宮城県栗原南部商工会)

・飲食料品関連の小売業は、軽減税率導入準備のため、混乱が生じている

(群馬県中之条町商工会)

・大型店の出店により個店では売り上げの確保が厳しく、仕入単価も上昇傾向にあり利益確保も厳しい。

店舗の減少化や仕入れ額の減少により卸先から配達してもらえない状況もあり、悪循環が続いている。

(島根県雲南市商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

・宿泊関連は、10月の紅葉集客を終え、12月以降のスキー場開きの準備であり今月はオフシーズンであるが、スノーモンキー目的のインバウンドは増加傾向にある。

(長野県山ノ内町商工会)

・旅館、レジャー関連のサービス業は大山開山1300年に関する各種イベントの効果もあり、前年対比増加傾向の事業者が散見される。

(鳥取県大山町商工会)

・宿泊、理美容、クリーニング業では大きな変動は見られないが自動車関連では新車の販売が少しずつ始めてきた。

(千葉県南房総市内房商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

・小売業同様、近隣の大型店との競争激化や、消費者の買い控えなどで売上が思うように向上しない現況化にある。

(茨城県坂東市商工会)

・人件費や労働条件があまりよくない企業は、人手不足でアルバイト、パートの確保に苦労されている。

(埼玉県朝霞市商工会)

・理容業は替え刃やシャンプーなどの仕入れ値が上昇しているため利益が減少している。

(山口県岩国西商工会)

・市内大手宿泊施設の改装休業により、旅館への宿泊需要が増えているようも思われる。しかし、建物の老朽化による設備への投資が必要な状況であるが、なかなか向かえないのが現状である。

飲食店については、消費者動向の落ち込みがみられ、厳しい状況にある。

(島根県雲南市商工会)

・コテージは昨年同月並み、キャンプ場は好調、野菜の販売は前年比92%となっている。売上の大半を野菜の販売に頼っているため厳しい結果となった。(コテージ)

11月は地元の祭りが開催されたため、他月よりも売上は好調だった。しかし昔に比べると明らかに受注が減った印象を受ける。(クリーニング)

概ね横ばい。売上を上げるためには従業員の確保が必須となる業界のため、募集はかけているが厳しい。(美容院)

(静岡県森町商工会)

・観光客が増え、ホテル旅館業は昨年同期より好況になっている。しかし、全国を震撼させる事件が下旬に発生し、ニュース報道されたことから、キャンセルが各ホテル旅館ともに数件生じた。観光地としてイメージダウンを懸念してい

(宮崎県高千穂町商工会)